

輪島市災害公営住宅整備事業（広江地区）

事業者選定結果

輪島市災害公営住宅整備事業（広江地区）について、参加者から提出された提案書について、提案説明及び質疑応答を実施し、厳正かつ慎重な審議を行った結果、次のとおり事業者を選定しました。

選定事業者 大和ハウス工業株式会社 北陸支社

【審査報告】

一次審査：令和7年12月3日

5者の参加表明があり、書類による参加資格の審査を行い、5者とも参加資格を有することを確認しました。

二次審査：令和8年2月2日

資格を有する5者より、提出された提案書の内容を審査しました。

技術提案書で11の評価項目を設定し、提案を求めました。また、技術提案に対し質疑応答を実施し、事業者を選定しました。

【定性的事項】

住宅等の供給体制

評価項目1：県内の住宅生産者が連携した住宅等の供給体制

評価項目2：住宅等の供給体制の確実性

住まい、まちづくりへの提案

評価項目3：団地全体の配置計画のコンセプト

評価項目4：高齢者世帯や子育て世帯、多様な入居世帯の安心・安全・快適な暮らしへの配慮

評価項目5：入居者間や周辺住民とのコミュニティに関する配慮

評価項目6：石川県産資材（木材など）の積極的な利用

評価項目7：環境負荷やライフサイクルコストの低減、維持保全の容易さに関する配慮

評価項目8：景観や周辺環境との調和に関する配慮

施工計画に関する提案

評価項目9：施工管理、品質確保

【定量事項】

建設工期

評価項目10：工程の短縮など住宅等の早期整備に対する提案

売買価格

評価項目11：廉価で要求水準を備えた売買価格

【審査講評】

輪島市災害公営住宅整備方針の災害公営住宅の役割に沿って、広江地区に災害公営住宅を整備するものです。

審査にあたっては、入居者間のコミュニティに関する配慮、安心・安全、快適な暮らしへの配慮、公営住宅としての維持保全の容易さがポイントになりました。

各者からは、団地全体の配置計画のコンセプト、住棟プラン、環境負荷やライフサイクルコストの低減、維持保全の容易さなど、これまでに培った経験を踏まえた提案をいただきました。

今回選定された事業者からは、安心・共助・持続性を備えた住環境の整備を目的とした、提案がなされ、団地全体の配置計画については、入居者にとって日常的な「安心・安全」や「快適な暮らし」だけでなく、雨や雪などの地域特性にも配慮した計画であるとともに、集会所や広場などの交流空間においても、入居者間や近隣住民とのコミュニティに配慮する提案となっております。

また、住棟については、周辺の既存住宅や景観に調和する、白壁・下見板張りのデザインとし、外部に使用する木材の耐久性を高める塗料の提案など通常の維持管理について配慮がなされた点が評価されました。

質疑応答でも、使用材料の特性や今後想定される資材不足に対する調達方法や、経年劣化、維持にかかるコストなどの疑問点について明確な方針が確認できました。

以上を踏まえて、事業者としての資質があるものとして判断し選定いたしました。



整備イメージ